



社外取締役 尾崎 元規

1949年6月6日生
1972年 4月 花王石鹼株式会社(現 花王株式会社)入社
2002年 6月 同 取締役執行役員
2004年 6月 同 代表取締役社長執行役員
2012年 6月 同 取締役取締役会会長(2014年3月退任)
2012年 6月 公益財団法人花王芸術・科学財団 代表理事(現任)
2014年 3月 公益社団法人企業メセナ協議会 理事長(現任)
2014年 6月 公益財団法人新国立劇場運営財団 理事長(現任)
2015年 6月 野村證券株式会社 社外取締役(現任)
2016年 6月 本田技研工業株式会社 社外取締役(現任)
2019年 6月 カシオ計算機 取締役

私は今まで日用品メーカーで実務と経営を担ってきました。また複数のグローバルに展開する日本企業の社外取締役も務めています。

その中で消費者の価値観は多様化しており、企業は今、現場でその変化を丹念に確認し、グローバルな中長期的視点に立って対応していく必要があると思っています。

今までの経験を活かして、カシオの企業価値の向上とコーポレートガバナンスの強化に貢献していく所存です。

カシオも真の成長に向けて新たなスタートを切ろうとしています。

カシオの執行に対しては、経営環境の変化に対し、従来の延長で考えるのではなく、常に革新性をもって臨んでほしいと思います。

また、取締役会については、取締役各人がそれぞれの専門性を発揮しつつ、活発な議論を行うことで、より活性化することを期待します。

これからの企業価値向上のためには、経済的価値と社会的価値の双方を高めていく必要があります。

ガバナンス強化のためには、グローバルなワンカンパニーとしての組織マネジメントを確立し、透明性をあげて執行をモニターしていきます。

こうした目標を持って社外取締役の役割を果たしていきます。



社外取締役 千葉 通子

1961年6月27日生
 1984年 4月 東京都庁入庁
 1989年10月 太田昭利監査法人
 (現 EY新日本有限責任監査法人)入所
 1993年 3月 公認会計士登録
 2010年 7月 新日本有限責任監査法人
 (現 EY新日本有限責任監査法人)シニアパートナー
 2013年 8月 同 社員評議会評議員
 2016年 2月 同 社員評議会副議長(2016年8月退所)
 2016年 9月 千葉公認会計士事務所 公認会計士(現任)
 2018年 6月 カシオ計算機 社外監査役
 2019年 3月 DIC株式会社 社外監査役(現任)
 2019年 6月 TDK株式会社 社外監査役(現任)
 2019年 6月 カシオ計算機 取締役 監査等委員

私は、社外取締役の重要な役割は、長い間に醸成された企業風土の中での取締役会の議論に対し、社内にはない視点を示すことであると考えます。監査法人での会計監査および法人の業務執行を監視する評議員としてのこれまでの私の経験を活かし、社内だけでは判断・評価しにくい事項に適切に関与していきたいと思えます。

当社はこのほど、監査等委員会設置会社へ移行しました。監査等委員会設置会社が上場企業の3割弱に達するなど、外部の目による経営の監督が期待されるなか、当社もガバナンス重視の姿勢を示しました。これを機に、今後当社の取締役会が、これまで以上に中長期的な事業戦略や監督機能に関する議論を充実させていくことを期待しています。中期経営計画を成し遂げるために、挑戦を促す風土づくり、実行できる仕組みづくりを支援し、またその遂行をモニタリングしていきたいと考えています。

社員の皆さんと接していると、技術や商品に対する熱心な説明の根底に、社員としての誇りと自らも伝統を継承していくという気概を強く感じます。カシオの独創的な発想と高度な技術力が生む数々の商品やサービス。このような価値創造を持続可能とするために、会社は社会的課題に取り組む俊敏性や倫理観などについて評価を受けることが重要になると考えます。



社外取締役 阿部 博友

1957年11月1日生
 1980年 4月 三井物産株式会社入社
 1988年 9月 ブラジル三井物産株式会社
 Manager of Legal Department
 1992年 4月 米国三井物産株式会社
 Assistant General Manager of Legal Department
 2002年10月 欧州三井物産株式会社
 General Manager of Legal Department
 2005年 5月 三井物産株式会社 欧州・アフリカ・中東本部
 General Counsel & Chief Compliance Officer
 2009年 4月 明治学院大学 法学部 教授
 2011年 4月 一橋大学大学院 法学研究科 教授(現任)
 2019年 6月 カシオ計算機 取締役 監査等委員

私は、客観的な視点からコーポレートガバナンスの機能をチェックし、公正な意見を具申することが社外取締役の重要な役割であると考えています。また、監査等委員の一員として、執行陣営の施策を尊重しつつ、その監査・監督にも注力していきたいと思えます。永年にわたる法務、コンプライアンスそして内部統制支援などの経験を活用して経営基盤強化に貢献するとともに、20年近い海外勤務の経験を活用して、カシオのグローバル経営の一層の発展にも貢献したいと思えます。

監査等委員会設置会社への移行によってカシオのコーポレートガバナンスは一段と強化されました。6月からは指名および報酬委員会が、社外取締役の主導する諮問機関として発足し、これまで以上に透明性の高い経営体制が実現しました。意思決定機能と監督機能の両面において均衡のとれたコーポレートガバナンスを維持発展させていきたいと考えています。

カシオは、独自のデジタル技術を活用した新しい文化を創造してきました。カシオには、どのような困難に直面しても熟慮断行し、途を切り開いて課題に立ち向かった「榎尾四兄弟」の逞しいDNAを受け継いだ社員の皆さんがいます。これからも、ヘルスケア産業や教育分野における技術革新の主導的な役割を担ってゆくと期待されます。